

覚書き

北海道支部 シンポジウムと合同セミナーについて

～北海道支部シンポジウムおよび合同セミナーに関する決め事を作成するに至った経緯～

北海道支部春季大会にて長きにわたり開催されているシンポジウムに加え、2017年より新たに合同セミナーが企画されてきたが、この2つの企画の違いや目的について明文化されたものはなかった。この2つの定例企画に関して目的や方向性を明確にすることは、今後北海道支部が共通認識を持ってテーマや演者を選定するうえで、とても重要である。以下、シンポジウムと合同セミナーに関する取り決めを記す。

【シンポジウム】

テーマ：近年のトピックス、研究に関する内容、臨床内容の場合やや専門的

対象と目的：春季大会参加者に対し、近年のトピックスや研究をテーマに、シンポジストの発表および議論による専門的な知見を提供する

演者：専門性はやや高め

*テーマによっては演者を専門委員ではなく技術学会員から適した人材に依頼することも可能
(ただし道内の技術学会会員に限る)

*専門委員会内で委員の教育という目的をもって、演者の選出することを可能とする

開催時期：春季大会

テーマと座長決め：7月頃の第1回学術企画委員会

【合同セミナー】

テーマ：一般的な疾患(例：脳梗塞、虚血性心疾患、乳がん、小児、大腸がん、肺がん、急性腹症)

*テーマはシラバス化する

①整形領域・救急、②脳・頭頸部、③胸部(乳腺、心臓含む)、④腹部・骨盤

対象と目的：初中級者向けへの教育、演者の教育目的も含む

演者：専門委員以外の方からの選出も可(目的は教育や次世代専門委員の発掘、道内学会員に限る)

開催時期：9月末～10月上旬(もしくは12月)

【上半期】3月1日～8月15日 支出○(8月16日～末日 中間監査準備のため支出NG)

【下半期】9月1日～2月15日 支出○(2月16日～末日 期末監査準備のため支出NG)

テーマと取りまとめ役決め：11月頃の第2回学術企画委員会

開催頻度：1年に1回

*セミナーの主な目的を教育としているため、開催内容の幅を持たせるために次年度以降より教育セミナー(仮)のような名称に変更を行う

【その他：演者を専門委員以外（道内会員）から選出することに関して】

① 準備期間中の会議費・当日のオンライン会議費は**支給可能**

旅費規程「旅費は役員・委員・班員および講師に支給できる」より

② 会議費は増加するが、**別途企画書の提出は不要**

シンポジウム、合同セミナーは毎回次年度企画書を提出するため、そこに記載を含める。

もし提出段階で不明の場合、オンライン会議費くらいの額であればあらかじめ多めに見積もって提出する。もし遠方で交通費等高額になる可能性がある場合は早めに財務に相談すること。

承認日時 2022.1.27 第5回北海道支部役員会